



平成19年3月20日

各位

会社名 日本製箔株式会社  
 代表者名 取締役社長 重村 郁雄  
 (コード番号 5739 東証・大証第2部)  
 問合せ先 管理部長 中村 幸一  
 (TEL. 03-5212-1751)  
 当社の親会社 古河電気工業株式会社  
 代表者名 取締役社長 石原 廣司  
 (コード番号 5801 東証・大証第1部)  
 当社の親会社 古河スカイ株式会社  
 代表者名 取締役社長 吉原 正照  
 (コード番号 5741 東証第1部)

平成19年3月期の業績予想の修正に関するお知らせ

1. 平成19年3月期通期業績予想の修正

平成18年11月6日付「平成19年3月期中間決算短信(連結)」および「平成19年3月期個別中間財務諸表の概要」に記載致しました平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の通期の連結および個別の業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

(1) 連結

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円	27,500	450	280
今回修正予想 (B)	百万円	26,900	290	10
増減額 (B-A)	百万円	600	160	270
増減率	%	2.2%	35.6%	96.4%

(2) 個別

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円	21,500	300	160
今回修正予想 (B)	百万円	20,700	210	50
増減額 (B-A)	百万円	800	90	110
増減率	%	3.7%	30.0%	68.8%

2. 修正の理由

平成19年3月期の通期業績予想は、中間決算発表時(平成18年11月6日)の予想と比較すると、特殊箔の需要回復遅れにより前回予想より売上高は減少する見通しです。損益につきましては、アルミ地金価格高騰分の製品単価への転嫁不十分、特殊箔の需要回復遅れおよび日用品事業の再構築により経常利益および純利益は前回予想より減少する見通しです。なお、ニッパクホイル加工株式会社の解散に伴う損失は、現在、清算手続きの一環として売却中の機械設備の結果に応じて変動しますが、概算80百万円程度の損失が見込まれ、上記連結業績予想には織り込み済みです。

以上